

あわら 市議会だより



第82号

令和6年11月15日 発行

- ・議会アンケートを集計…詳細は17pへ
- ・議員と語ろう会を開催します!
…詳細は20pへ

Pick Up

14～16p

あわら市子ども議会の挑戦!

定例会報告	2 p
委員会報告	3-4 p
一般質問	5-11 p
討論・次期会期日程	12 p
議決結果	13 p
あわら市子ども議会の挑戦!	14-16 p
議会アンケート集計結果	17-19 p
特集ギカツ「議員定数・議員と語ろう会」	20 p



議会の様子が YouTubeで視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

令和6年9月定例会を開催しました

8.27 » 10.9

8月27日から44日間
にわたって、9月定例会が開催されました。

定例会では、議案18件を審議。9月5日、6日には13人の議員が一般質問を行いました。9月20日、10月9日の本会議では、常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、賛成全員または賛成多数ですべての議案が可決されました。

9月定例会の流れ



主な議案をチェック

令和6年度補正予算

一般会計と企業会計で総額1億9,867万5千円を増額し、予算総額は232億1,317万2千円に。

中学生の給食費を全額無償にするための予算などが計上されています。

提出された補正予算案は、委員会での調査を経て、9月20日、10月9日の本会議で採決を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

令和5年度決算を認定

9月議会では、令和5年度の決算に関する議案10件を審査しました。

審査では、「予算が適切に執行されているか」「財政執行が行政目的に適合しているか」「住民負担と使途が適切かつ効率的か」などの視点で審査を行い、翌年度以降の事業がより良くなるよう議員から意見や提案を行っています。主な意見や提案は4ページをご覧ください。

令和6年度補正予算

総額1億9,867万5千円を増額

中学生の学校給食費を全額無償に

10月1日からの中学生の学校給食費を全額無償にします。



▲中学校の給食の様子

拡

金津創作の森のトイレを洋式に改修

835万8千円

インバウンド観光客の受け入れに向けて、金津創作の森のアートコアと屋外トイレを全て洋式化します。



▲金津創作の森美術館

新

福祉避難所に防災資機材の導入費用を補助

350万円

福祉避難所の機能強化に向けて、市内の福祉避難所に対し、防災資機材などの導入費用を補助します。



▲福祉避難所のひとつ、金津雲雀ヶ丘寮

新

常任委員会（予算審査）

予算決算常任委員会

令和6年度

一般会計補正予算

■観光振興課

観光タクシー

問 観光タクシーの利用者が増加すればするほど財政負担も増加するため、その損益分岐点を見極めているのか。そのうえで、公共交通と民間交通の重複路線について、民間の交通事業者と協議しているのか。

答 観光タクシーの利用者が最も多い路線が民間バスの路線と重複しています。その路線の運行について、検討する必要があります。あると考えています。

■建設課

木造住宅の耐震診断

問 市民から耐震診断の申込みが86件ある一方で、市が耐震診断を委託している一般社団法人福井県建築士事務所協会が40件しか診断を実施できないのであれば、一般の建築士に耐震診断を委託できないのか。

答 国の交付金や県の補助金を活用して耐震診断をするには、一般社団法人福井県建築士事務所協会に委託する必要があります。1件でも多く耐震診断が実施できるよう、県と協力して協会に働きかけをしていきます。

■教育総務課

中学校給食費無償化

問 なぜ中学校の給食費を全額無償にするのか。

答 市の財政状況を鑑みたくえて、中学生の保護者が負担する給食費や教材費が、小学生の場合よりも多いことを考慮し、中学生の給食費を無償にします。

提案 無償化の継続に向けて安定した財源を考えてほしい。

■スポーツ課

剣岳グラウンド

問 剣岳グラウンドの土地を地権者に返還する前提で境界の測量を行うのか。

答 土地の返還に向けて測量を行っています。

■子育て支援課

子どもの遊び場整備

問 整備に向けた今後の予定はどのようなか。

答 子どもや保護者へアンケートを行った結果を踏まえて、どのような遊び場を整備するのかを「基本計画策定委員会」で協議しているところです。

近隣の他市町のような遊具主体ではなく、あわらし市でないと体験できない遊び場を検討しています。

令和6年度公共下水道事業会計補正予算

■上下水道課

マンホール周囲の舗装補修工事

問 地震による舗装補修工事であれば、国の補助

金などを財源にできないか。

答 今回補修する場所は災害によって損傷を受けたと断定できません。そのため、市の財源で補修を行います。

総務厚生常任委員会 産業建設教育常任委員会

あわらし市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、引用する条項を改めるため、所要の改正を行いました。

あわらし市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

国民健康保険法の一部が改正され、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されることに伴い、国民健康保険被保険者証の返還に係る規定が廃止されることから、所要の改正を行いました。

あわらし市工場立地法に基づく緑地等に関する準則を定める条例の制定

工場立地法第4条の2第1項の規定に基づき、同法第4条第1項の規定により公表された準則に代えて適用すべき緑地面積率等に係る準則を制定するものです。

常任委員会（決算審査）

9月議会では、令和5年度の決算について審査を行っています。
翌年度以降の事業がより良くなるよう、議員から様々な提案を行っています。

■財政課

財政調整基金

問 財政調整基金の取り崩しを縮減するための考えはあるのか。

答 歳入を増やすには、ふるさと納税の強化が必要です。一方、歳出の削減は難しく、決算状況を見ながら事業のスクラップアンドビルドを行っています。

予算の柔軟性

問 予算が硬直化し、事業に使える一般財源に限りがあるのではないかと答 人件費や物価高騰に伴い経常経費の上昇傾向が続いています。今後、公債費も上昇が見込まれるため、新たな歳入確保が必要です。

■総務課

電子回覧板

提案 使いやすいシステムにして、区長の負担を軽減し、区長のなり手不足の解消につなげてほしい。

■監理課

公用車の電気自動車化

問 ゼロカーボンシティに向けて、公用車を電気自動車に入れ替える具体的な計画を定めるべきではないか。

答 今の公用車の使用年数や充電設備の設置を考慮し、今後入れ替えを考えていきます。

■市民協働課

移住定住の促進

提案 SMOUT（スマウ

ト）を使い、市の魅力や強みをもっと発信してほしい。また、定住につな

がる住みやすい街にするために、他部署と連携してほしい。

答 SMOUTの活用を継続しながら、来年度公開の移住者向け特設サイトにより、他部署との連携強化を図ります。

■生活環境課

北潟湖の

自然再生の取組

問 北潟湖の自然再生の取り組みとその効果は。

答 北潟湖自然再生協議会で調査・検討を行っています。また令和6年度から、北潟湖の将来を考えるワークショップを実施しています。

■農林水産課

農業者労働災害

共済基金

意見 共済掛金と共済給付金の収支のバランスに無理があるため、基金残高を目減りさせる状況にある。基金を維持するためにも、十分な協議のうえ制度の見直しが必要だ。

答 制度に無理があることは認識しており、現在協議を進めています。

■観光振興課

インバウンド対策

提案 オンライン・トラベル・エージェントを通じて情報発信が重要であり、体験型ガイドブックを活用して、観光情報を各国の言語でも検索ができるなど、広域的なサービスを提供し、観光施策を推進してほしい。

■商工労働課

企業の雇用創出

意見 他自治体の取り組みを参考に助成金の交付要件を緩和するなど、市内企業の雇用を促進するための新たな制度を検討する必要がある。

答 雇用創出につながるよう、助成金の要件緩和を検討していきます。

■教育総務課

ICTの活用

提案 小中学校の教職員間でICT機器の利用に差が生じている現状を踏まえ、デジタルデバイドの解消を図り、ICT教育の成果を上げてほしい。

国際交流の充実

提案 国際交流にできるだけ多くの生徒が参加できるように検討してほしい。

■文化学習課

文化イベントの拡大

意見 イベントに多数参加してもらえる仕組みづくりをするために、年齢層にあわせた手段で広報をすることが重要だ。

■スポーツ課

部活動地域移行

提案 地域移行の課題を分析する場合には、指導者側の意見だけでなく、部活動に参加する子どもや保護者側の意見も聞き入れ、最良の制度を作り上げてほしい。

カヌー競技の普及

提案 カヌーのインストラクターや指導員を配置し、活動時の事故防止の啓発を強化し、カヌー競技の普及を推進してほしい。

18 keyword キーワード 一般質問

CHECK!



市議会では、議員たちが市民の声を代弁して「一般質問」を行っています。
今回は13人の議員が生活に関わる注目のテーマを取り上げました。
どんな質問が飛び交ったのか、キーワードで一気にチェックしてみましょう！
あなたの「気になる」が議論されているかもしれませんよ！

● 高齢者支援	● 放課後児童クラブ	● 子宮頸がんワクチン	● 不登校対策	● 空き家対策	● 後援申請	● 観光誘客	● 防災力強化	● 農業支援	● 緊急通報装置	● スケートボード	● ペットと避難	● JR芦原温泉駅にベンチ	● 違法書類作成	● 上下水道の未来	● 職員の業務改善	● 介護報酬の見直し	● ガイドレール設置
P.5	P.6 P.9	P.6	P.6	P.7	P.7	P.7	P.8	P.8 P.10	P.8	P.9 P.10	P.9	P.9	P.9	P.10	P.10	P.11	P.11

・高齢者が生き生きと生活 できる環境づくりについて

高齢者が生き生き
と生活できる環境
づくりについて

どのポイント付与を検討
していきます。

木下 高齢者がボラン
ティア活動を通して介護
予防や健康づくりがで
きるように、ボランティ
ア活動に参加した高齢
者にデジタル地域通貨
「はぴコイン」などのポイ
ントを付与する制度を
導入する考えはあるの
か。

木下 高齢者が安心し
て生活できるための環
境整備、特に医療機関な
どへのアクセス向上につ
いて、どのような取り組
みを行っているのか。

市長 道路整備では、ユ
ニバーサルデザインを推
進し、段差を緩和するな
どの配慮を行っています
。また、あわら市乗合タ
クシーでは、高齢者割引
などを行うほか、新たに
スマートフォン予約アプ
リや坂井市へ移動できる
よう検討しています。

木下 高齢者が安心し
て生き生きと生活する
ために、今後どのように
支援していくのか。

を参考に「はぴコイン」な

市長 あわら市の65歳

木下 勇二 議員



以上の高齢者人口の割
合は34.9%と、今後も
高齢化が見込まれます。
「あわら市高齢者福祉計
画」に沿って、介護予防
教室の普及啓発に努め
るなど、健康で住みやす
いまちを目指していきま
す。

木下 市民が安心して
活力ある暮らしを送れ
るよう、市長には市民の
声に耳を傾け、さらなる
支援の推進を期待する。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・あわら市の重要課題

放課後児童クラブの

課題について

あわら市の重要課題
放課後児童クラブ
の課題について

八木 放課後児童クラブの現状はどうか。

健康福祉部長 夏休みなど、長期休業中の放課後児童クラブの利用登録

者数は、市内の放課後児童クラブ全体で約2割増加します。小学1年生から3年生までの低学年

では半数以上が利用登録をしており、高学年の割合も年々増えています。そのため、スペースが不足する場合には、小学校などに協力を仰ぎ、児童の受け入れ体制を整えていきたいと考えています。

教育長 放課後児童クラブの利用者の増加によってスペースが不足する場合には、安全面や管理面を考慮しながら小学校や公民館などの使用について協議をしています。

八木 放課後児童クラブを利用しての保護者との定期的な意見交換や相談体制はどのようか。

健康福祉部長 児童同士のトラブルや怪我など、保護者へ直接伝えるべき内容については、送迎時に伝達しています。一方で、受け入れる児童の多様性や安全確保への対応に追われており、十分な相談体制を確保する

ための支援員を配置できていないことが課題です。

市長 生活環境や社会環境が大きく変わっているため、現状を把握し、課題解決に向けて全力で取り組んでいきます。

八木 秀雄 議員



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・子宮頸がんワクチンについて 不登校対策について

子宮頸がんワクチンについて

堀田 ワクチン接種の差し控えにより、接種機会を逃した方を対象に予防接種を行う「キャッチアップ接種」の無料期間が令和6年度内で終了する。このことをどのように周知しているのか。

健康福祉部長 接種対象者には、キャッチアップ接種の初年度と最終年度に個別に接種勧奨を行い、市広報紙やホームページでも広く周知しています。ワクチンによる予防と合わせて、検診が大事であり、40歳以下の検診料を無料にし、受診しやすい体制を整えています。

堀田 不登校の子どもたちへの学習機会の提供として、民間の力を利用することは検討しているのか。

不登校対策について

堀田 どのような不登校対策を実施しているのか。

教育長 これまでの取り組みに加えて、今年度は小学校と中学校の1校ずつに校内サポートルームを設けて、専任の支援員が精神面でのサポートを行い、教室に戻るよう後押ししています。また、適応指導教室の職員の勤務時間を拡充し、自宅訪問や保護者との相談にもしっかりと対応できるようにしました。

堀田 不登校の子どもたちの居場所づくりとして、新郷小学校の「まぜテクネ」やフリースクールがあるが、このような民間との連携や支援を今後検討してほしい。

堀田 あけみ 議員



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・空き家対策について ・後援事業について

空き家対策について

青柳 どのような空き家対策を行なっているか。

市長 市は、「あわら市空家等対策計画」に基づいて、空き家対策を行っています。まずは空き家の利活用を進めるために、あわら市空き家情報バンクへの登録を促しています。所有者が仲介業者の選定や登録の準備などに不安を抱えている場合には、職員が直接空き家を訪問し、状態を確認したり、仲介業者を選定したりすることで円滑な登録をサポートしています。さらに、特定空家については助言や指導を強化し、特定空家等除却支援

補助金を活用して所有者の解体を促進しています。また、所有者が確認できない特定空家については、市が略式代執行を行い、周辺の生活環境の改善に努めています。

青柳 空き家の情報集約をどのように進める考えか。

市長 空家情報バンクへの登録を促進するため、利活用が可能な空き家の所有者に対してチラシを配布し、登録を働きかけています。また、空家情報バンクに登録した所有者には、奨励金の交付や、空き家の家財処分費用を支援する補助制度を設けています。

青柳 篤始 議員



後援事業について

青柳 後援依頼の申請が容易にできるよう、申請書の記入例を示しているかどうか。

総務部長 市ホームページに記入例を掲載し、事業内容によって申請書類の簡素化に努めます。ただし、後援はあわら市の名義の使用の可否を判断するものであるため、後援に必要な書類の提出については、申請者に丁寧に説明していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・北陸ディスティネーション キャンペーンについて

北陸ディスティネーション キャンペーンについて

島田 北陸新幹線県内開業から半年が経過し、

いよいよ令和6年10月から12月までの3ヶ月間、国内最大級の観光キャンペーンである「北陸ディスティネーションキャンペーン」がスタートする。これにより多くの誘客を図るため、近年注目されているMaas（マース）の活用を含め、どのような旅行商品の造成や魅了発信に向けた準備をしているのか。首都圏対策も重要だが、これまでの顧客である関西や中京圏への手綱を緩めては

いけないと考えている。

市長 あわら市も参画しているJR西日本が運営するMaas（マース）アプリ「tabiway WESTER（タビワイウエスター）」を効果的に活用するため、アプリ内にあわら市専用ページを構築し、旅行商品の造成や観光PRを行っています。これにはJRや旅行会社、メディアと連携し、首都圏だけでなく関西や中京圏にも力を入れ、北陸DCの成功と顧客獲得に向けた準備を着実に整えています。

島田 首都圏は巨大マーケットであるため魅力的だが、簡単にあわら市の顧客になってくれるとは考えにくい。そのため、首都圏に加え、関西や中京圏に対しても、これまでの強力な対策を講じるべきだ。また、北陸DCに限らず、観光振興には観光事業者だけでなく、市民全体の「おもてなし力」の向上が必要不可欠だ。観光振興は市民の日々の暮らしの向上に寄与するものであるため、市民全体で北陸DCを盛り上げ、誘客拡大と顧客確保、さらにはまちづくりの発展に貢献することを願っている。

島田 俊哉 議員



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・総合的な防災・減災対策の強化について

総合的な防災・減災対策の強化について

はどのように定めているか。

吉田 道路や橋梁、河川の強化について、計画的に進めていく必要があると思うが、どのように考えているのか。

土木部長 市の規則では、配水池などの建築物は50年、水位計やポンプなどの電気・機械は15年、管路は40年と工種ごとに耐用年数を定めています。

市長 令和3年11月に「あわら市国土強靱化地域計画」を策定し、大規模災害が起こったときの交通ネットワークの確保

吉田 今後、上水道施設や管路をどのように維持・改修していくのか。その計画や想定事業費は。

土木部長 施設と管路の維持・改修について、令和17年度までの想定事業費を算出しており、施設では23億円、管路では10億円を見込んでいます。

吉田 能登半島地震では、市内でも断水が生じますが、上水道の耐用年数

吉田 能登半島地震を



吉田 太一 議員

受けて、市の防災や危機管理体制が強化されると思っていたが、組織改編や人事異動を経て、総務課の防災安全対策室の正規職員の人数は2人のまま変わっており、組織強化が図られていないように思えない。

市長 令和7年度には、防災安全対策室から課へ引き上げるとともに、課員の増員を図り、危機管理体制を強化していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわら市の農業施策について 老いてもほっとする まちづくりについて

あわら市の農業施策について

北浦 梨農家の後継者を確保するため、行政として何か打つ手はないのか。

市長 農業に関する事柄は、食料供給だけではなく、環境保全や地域コミュニティの維持など公共的機能が存在するため、制度の見直しを検討していきます。

経済産業部長 坂井農林総合事務所、あわら市、坂井市などの関係者で、担い手育成を含め協議しており、解決に向かう方針や施策をつくり上げていきたいと考えています。

老いてもほっとする
まちづくりについて

北浦 24時間の見守りができる緊急通報装置の設置対象者の拡大や利用者負担金の減免はできないか。

健康福祉部長 身体状況や環境上の理由がある場合、または身体障害者手帳1級と2級の所持者など、40歳以上の方を対象とすることを検討していきます。また、利

北浦 県単小規模土地改良事業では、事業費用の5割を地元が負担をしている。地元負担を軽減するため、何割かを市が補助すべきではないか。



北浦 博憲 議員

用者負担金の減免等も同様に検討していきます。

北浦 市社会福祉協議会が立ち上げを支援している福祉委員会に、市はどう関わり、活動を支援していくのか。

健康福祉部長 市は福祉委員会に対して、社会福祉協議会を通して補助を行っています。福祉委員会のメンバーである福祉推進員や民生委員、児童委員の活動を支援し、住みやすい福祉のまちを目指します。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・夏休み中に放課後児童クラブで昼食の提供を スケートボードができる 広場の整備について

夏休み中に放課後児童クラブで昼食の提供を

北島 夏休み中に放課後児童クラブで昼食を提供できないか。

市長 民間事業者から意見や提案を求める「サウンディング型市場調査」を通して、弁当宅配事業者からアイデアを募集しているところです。しかし、現時点で宅配事業からの提案はなく、すぐに昼食を提供するとは困難な状況です。

北島 事業者の提案を待たず、市が積極的に事業者を模索するべきではないか。

健康福祉部長 地元の飲食店や坂井地区エリアだけではなく、エリアを広げて積極的に事業者にアプローチを図っています。

きます。

北島 昼食の提供に伴う放課後児童クラブの支援員の負担や不足を解消するために、地域ネットワークを活用すれば人員配置はクリアでき、地域支援の充実にも繋がるのではないかと。

健康福祉部長 地域の方々のノウハウや協力を得ることも大切です。夏休みの昼食提供を実現するため、支援員のサポート体制も整えていきます。

スケートボードができる広場の整備について

北島 市内にスケートボードができる場所はあるのか。また、安全性についてどのような配慮がされているのか。

教育長 市内にはスケート

北島 登 議員



トボード専用の施設はありませんが、条例などで定めたルールが順守されればスポーツ施設の利用を許可しています。安全確保のために、ヘルメットやプロテクターの装備を推奨しています。

北島 スケートボードパークを整備する予定や計画はあるのか。

教育長 整備には多額の費用が必要です。小中学校や公民館、スポーツ施設の改修や修繕など優先すべき課題が多々あるため、慎重に検討していきます。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

・災害時のペットを連れた 避難について

JR芦原温泉駅構内(東西自由通路)へのベンチ設置について

災害時のペットを連れた避難について

卯目 近年、地震や大雨など予測不可能な災害が起こっている。ペットのいる家庭も多いため、ペットを連れた避難訓練を行うほか、ペットに関する防災の予備知識の向上や啓発を行うべきではないか。

総務部長 近年、ペットは家族の一員という認識が高まっており、災害時にペットのために避難しない人や逃げ遅れる人がいます。国もペット同行避難を推奨しており、市としても飼い主がペットと共に安全に避難できるように備えることが重

要だと考えています。そのため、まずは避難所で

ペットをどのように受け入れるかの運営マニュアルを定めることが必要です。今後、ペットと避難者の生活エリアを分け、接触を減らす運営を検討します。また、ペットを連れて避難ができることを広報紙やガイドブックなどで周知・啓発していきます。

JR芦原温泉駅構内(東西自由通路)へのベンチ設置について

卯目 JR芦原温泉駅の東西自由通路に送迎や待ち合わせで利用できるベンチを設置できな

卯目ひろみ 議員



いか。

市長 新幹線利用者の待ち合わせについては、ベンチや冷暖房が整備されたアフレアや駅構内の待合場を想定していました。しかし、新幹線開業から約半年が経ち、利用者のニーズに対応することも必要と考えています。設置にあたっては、人の流れや安全性を考慮し、ベンチの形状や数を検討していきます。



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

スケートボード競技の普及について 行政書士の業務取扱いについて 相続で分散化する農地の 有効活用について

スケートボード競技の普及について

平野 市内のスケートボード愛好者数を把握しているか。

教育長 市スケートボード協会からの報告によると、愛好者数は、令和6年8月時点で40から50人ほどのことです。

平野 大人や子どもたちのびのびと練習ができる場所や施設を整備する考えはあるか。

教育長 スケートボードパークの整備には多額の費用が必要となるため、慎重に検討していきますが、練習が出来る場所については、今後も市スケートボード協会の相談に応じていきます。

行政書士の業務取扱いについて

平野 市役所内に行政書士が関わる書類申請業務はいくつあるのか。また、申請者の代理人から書類等の提出を受けたことや申請に関する質問を受けたことはあるか。

総務部長 書類申請業務は1万種類を超えると言われていきます。市では、過去3年間に4つの業務で行政書士から申請がありました。その業務のうち、代理人による申請や質問はありませんでした。

平野 違法・不当な書類作成や提出行為の防止策についてどう考えているか。

総務部長 窓口に警告プレートを設置し、福井県行政書士会と連携して本人確認の徹底に努めています。

平野 時夫 議員



相続で分散化する農地の有効活用について

平野 遊休農地の現状と、農地の分散化防止対策について問う。

経済産業部長 令和5年度調査では、遊休農地は67ヘクタールで、全体の農地面積 3,861ヘクタールのうち約1.7%です。また、令和5年度から各地区で将来の農地の在り方などを示す地域計画や目標地図を作成しており、令和6年度中に完成する予定です。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

上下水道事業包括的民間委託業務の進捗と、その他の課題と対応について

上下水道事業包括的民間委託業務の進捗と、その他の課題と対応について

室谷 給水人口の減少や節水機器の普及に伴い、料金収入が伸び悩む中で、水道施設の老朽化に伴う建設事業費の不足や経験者の退職による人材不足など、経営環境が厳しくなっている。

市長 委託事業者と包括委託契約を行い、10月から料金収納業務や窓口業務を事業者に引き継ぎました。また、受水場や配水場などの上水道施設やマンホールポンプ場などの下水道施設の管理業務については、機械や電気設備などの専門的知識を持つ職員がいないことから、これらの保守管理や維持管理などの業務も事業者に委託しています。

室谷 水道事業の広域化の進捗状況はどのようか。

土木部長 福井県広域化推進プランにより、県が主体となり、あわら市と近隣市町で事業統合を目指しています。現在、システムの共同化や資材の共同調達などを検討しています。各市町の事情や課題の違いから、本格的議論に至っていません。

室谷 今後、県の施設更新の必要額を見極め、粘り強く交渉を進めてほしい。

室谷 陽一郎 議員



室谷 県から供給を受けている水道用水について、契約水量の約1/3は使用されていない。責任水量の引き下げに向けた今後の見通しは。

副市長 責任水量の引き下げに向けて、10月に福井県知事に対して要望を行います。県の公営企業課とも協議しており、市が負担している受水費の必要性を確認していきます。

室谷 今後、県の施設更新の必要額を見極め、粘り強く交渉を進めてほしい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・職員の業務改善と

効率化について

職員の業務改善と効率化について

三上 職員が業務について感じる不満な点や改善点をどのように吸い上げているか。

総務部長 職員組合を通じて職員の意見を集約し、市長に要求書が提出されています。業務改善などの相談は、各所属長によるOJTのほか、全庁的な窓口として総務課行政改革推進室でも随時受け付けています。

三上 外部から客観的に見た改善点を指摘する仕組みはあるか。

総務部長 附属機関などは設置していませんが、市には様々な意見等が数多く寄せられており、

都度丁寧な対応に努めています。また、福井県と

県内17市町では、各自自治体の行財政問題について情報交換等を行っており、例えば、働き方改革の一環として通年ノーネクタイを実際に実施しています。

三上 改善や効率化を検討し実行する仕組みはあるか。

総務部長 行政改革推進室において、業務の改善や効率化に努めています。令和6年度は、決裁

区分の見直しや添付書類の簡素化を行い、事務処理の軽減化を図っています。また、業務の改善や効率化を継続的に進めていくためには、職員の資質向上ややる気、モ

三上 寛了 議員



チベーションの醸成なども不可欠です。AI技術を活用した行政サービスの研究やデジタル技術

などを活用した業務プロセスの可視化、改善目標の明確化、コミュニケーションの円滑化なども一体的に図りながら、風通しのよい職場環境づくり、サステナブルな業務改善に努めてまいります。

三上 表面的なことではなく、現場の本音や改善効果を把握した上で、最善の手法を検討してほしい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・訪問介護事業所への支援を 市道の危険個所に

ガードレールを

訪問介護事業所への支援を

山川 2019年から2023年の5年間で、

訪問介護事業所が全国で8,648か所、福井県で49か所廃止されたとのことだが、あわら市の実態はどうなっているか。

健康福祉部理事 訪問介護事業所は坂井地区内に18か所、あわら市内には5か所あります。高齢化率が34.9%と、訪問介護は欠かせないサービスです。全国的には人材不足で、事業の廃止や休止を懸念する声があります

が、坂井地区では、事業がひっ迫しているとの相談はありません。

山川 訪問介護事業所が運営を持続するためには、介護報酬の引き上げが必要と考えるがどうか。

健康福祉部理事 今回の報酬改定では、処遇改善加算の活用により経営安定化が期待され、直ちに報酬引き上げを求める状況にはないと考えています。

山川 市内には、ここ数年赤字続きという施設もあるため、各事業所の経営状況を把握し、支援を強めてほしい。

市道の危険個所にガードレールを

山川 剣岳地区の柵と権世を結ぶ市道には、蛇行した川が接近してお

山川 知一郎 議員



り危険だ。そこにはガードレールがなく、自動車が脱輪すれば、川底まで転落し大事故になる恐れがあるため、ガードレールを設置すべきではないか。

土木部長 その市道は見通しのよい直線道路で、事故が多発している路線ではありません。死亡事故に繋がりがかねない緊急度の高い区間で、利用者や地元区から要望をいただいた箇所から順次ガードレールを整備していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

12月定例会のお知らせ

主な会議の予定

11月25日(月)	本会議 初日
	予算決算常任委員会
12月 4日(水)	本会議(一般質問)
5日(木)	本会議(一般質問)
9日(月)/10日(火)	総務厚生常任委員会
11日(水)/12日(木)	産業建設教育常任委員会
18日(水)	予算決算常任委員会
19日(木)	本会議 最終日



▲会議日程



▲公式 YouTube

会議の様子を配信しています

会議の様子を見ませんか？
パソコン、スマートフォン、タブレットから
市議会公式YouTubeにアクセスしてご覧
ください。

議案の討論

ある議案に対して、賛成か反対かの意見を述べることを「討論」といいます。
ここでは、定例会で討論が交わされた主な議案を紹介します。

●議案第63号

令和6年度一般会計補正予算(第6号)

(採決の結果、賛成多数で可決となりました)

科目の教科書が無償であるのと同様に、食育の教科書である学校給食も無償であってしかるべきだと思う。

今回は、ふるさと納税を財源に中学校の給食費を全額無償にするものだが、給食費に充てる予算を減らすことなく、次の世代を担う子どもたちのために、質の高い、安心・安全な給食を提供してほしい。

賛成討論



▲詳細はYouTube

賛成討論

学校給食には子どもの食の格差を埋める役割がある。給食費を全額無償にすることで、経済的負担の軽減や安心して子育てできるメリットがある。



▲詳細はYouTube



みなさん

ちょっと役立つ 豆知識

政治家のルール

お金のかからないきれいな政治・選挙の実現のため、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。

また、年始の挨拶に欠かせない年賀状ですが、政治家が自身の「選挙区内にある者」に、年賀状や寒中見舞状などの時候のあいさつ(電報も含む)を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は公職選挙法で禁止されています。

《寄附の例》

- ・お中元、お歳暮
- ・神社の玉串料
- ・祝い金や品物
- ・葬式の花輪、供花
- ・地域の行事への寄附や飲食物の差し入れ
- ・町内会の催物への寸志や飲食物の差し入れ(新年会や祭りのお神酒など)



第123回 あわら市議会定例会 議案等の議決結果及び各議員表決

区 分	議案 番号	○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないので「／」で表示	議決 結果	表決		議 員 名															
				賛 成	反 対	三 上 寛 了	青 柳 篤 始	島 田 俊 哉	木 下 勇 二	北 浦 博 憲	堀 田 あ け み	室 谷 陽 一 郎	平 野 時 夫	毛 利 純 雄	吉 田 太 一	山 田 重 喜	八 木 秀 雄	笹 原 幸 信	山 川 知 一 郎	北 島 登	卯 目 ひ ろ み
市 長 提 出 議 案	52	令和5年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	○	○	
	53	令和5年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	○	○	
	54	令和5年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	×	○	○	
	55	令和5年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	56	令和5年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	57	令和5年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	58	令和5年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	59	令和5年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	60	令和5年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	61	令和5年度あわら市公共下水道事業会計剰余金の処分について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	62	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第5号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	63	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第6号)	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	○	○	○	
	64	令和6年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	65	令和6年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	66	あわら市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	67	あわら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	68	あわら市工場立地法に基づく緑地等に関する準則を定める条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	
	69	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第7号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	

7月30日、中学生が市政について自分の意見を発表する「子ども議会」が開かれました。

この日は、芦原・金津両中学校から16名の中学生が参加。中学生ならではのアイデアや質問が次々に飛び出し、市のリーダーたちも真剣に耳を傾けました。中学生たちはどんな未来を描いているのか・・・開催レポートをお届けします。

— 子どもたちがつくる未来 —

あわら市子ども議会の挑戦!

Q & A

子ども議員からの質問や提案、それに対する市の答えを一部ご紹介します。

■ 芦原温泉の水質について (芦原中3年・墨谷議員)

Q. セントピアあわらでの菌発生防止のために、定期検査の増加やこまめな清掃などをしてはどうか。

A. 塩素濃度測定の確認体制や浴槽の清掃などを強化している。今後指定管理者を指導・監督していく。



■ 芦原温泉駅前の施設の有効利用について (金津中3年・大南議員)

Q. 芦原温泉駅前の経営を停止している店舗をテナントとして貸し出すなど、今あるものを最大限活用してはどうか。

A. 市では補助事業の創設や空き店舗・空き家の持ち主への意向調査を実施している。今後も粘り強く交渉を進めたい。



■ 熊対策について (芦原中3年・長谷川議員)

Q. 熊の目撃情報が多発している。電気柵や熊に見えないところに檻を設置するなどしてはどうか。

A. 今年は檻の数を増やし、出没状況に応じて場所を変えるなどしている。対策の周知やパトロール等を行い、被害防止に努める。

■ あわら市のお祭りについて (芦原中3年・小林議員)

Q. お祭りでのゴミのポイ捨て防止のため、ゴミ袋の手渡しやゴミ箱を増設してはどうか。

A. 小学生が制作したゴミ箱の設置や、地元住民や高校生がゴミ拾いや清掃活動に取り組む例もある。祭りを主催する地元住民と協議し、解決に努める。



■ あわら市の人口減少を止めるための方策について (金津中3年・土岐議員)

Q. 子育てにかかる費用負担が出生率減少の原因の一つと考える。子育て応援事業の補助金を増額してはどうか。

A. 金銭支援の拡充を含め、企業や商業施設の誘致など様々な施策を進め、若い人たちがあわら市に住み、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えたい。

■ あわら市と tabiwa by WESTERについて (金津中3年・吉村議員)

- Q. 新たなモデルコースを作るなどJR西日本の tabiwa by WESTERと手を結んだり、新幹線で来た観光客にお得なサービスを実施してはどうか。
- A. JR西日本の「WESTER」と連携し、実証実験を進めている。モデルコースの掲載をJR西日本に働きかけたり、割引クーポンのようなサービスを公共施設で導入可能か検討したい。

■ 金津本陣IKOSSAのカフェの設置について (金津中3年・安父議員)

- Q. 金津本陣IKOSSAにカフェを設置し、併せて本を汚さない対策をしてはどうか。
- A. 市全体の公共施設の在り方や、より良い施設づくりを考える上での検討材料としたい。本についてはロビーに貼り紙を掲示するなどして、管理したい。

■ タブレットの使用問題 (芦原中3年・東出議員)

- Q. AIを活用して生徒のタブレットをトラッキングし、学習に関係のないサイトへのアクセスを制限してはどうか。
- A. AIを活用したアクセス制限は、今後、日本国内で普及した時点であらためて導入を検討したい。一方、生徒全体で話し合い、自ら規制する方法を考えることも大切ではないかと思う。

■ トリムパークの環境改善について (金津中3年・亀井議員)

- Q. 市民ボランティアやトリムパークの利用者で生い茂っている木の伐採や、除草を行ってはどうか。
- A. 近隣の地区には毎年樹木の伐採をお願いしているが、市民ボランティアが加われば整備が進む。今後検討したい。

■ 駅東地区在住の金津小学校の児童の通学路について (金津中3年・牧野議員)

- Q. 通学路となっている駅構内について、登下校時に見守り隊の方々に見守ってもらうことはできないか。
- A. パトロールや防犯カメラの設置、見守り活動などを実施している。見守り隊の駅構内への配置が可能か、今後協議し、安全確保に努めたい。

■ あわら市街の縁石やブロックについて (芦原中3年・松村議員)

- Q. 縁石やブロックの高さを車のタイヤの半分よりも高い高さにかさあげしてはどうか。
- A. 縁石の高さは国土交通省の基準に基づいて設置している。車両用防護柵や車止めの設置、交通安全啓発活動、多角的な視点から交通事故の未然防止を図り、交通安全対策に取り組みたい。

■ アフレアのイベントについて (金津中3年・木田議員)

- Q. ホームページやチラシだけではなく、テレビCMで情報を発信してはどうか。
- A. テレビCMを放送する費用は、他の手法に比べ非常に高い。イベントの内容や費用対効果を検証しながら、情報発信に努めたい。



■ アフレアの待合スペースについて (金津中3年・野坂議員)

- Q. 観光客と勉強したい学生の双方が共存するため、aキューブの空いている所に勉強スペースを設置してはどうか。
- A. aキューブは活用方法を検討中である。aキューブに限らず、中高生が勉強したり語り合ったりできる場所を新幹線駅周辺に作れないか検討する。



■ アフレア周辺、あわら市内の活性化 (金津中3年・永田議員)

- Q. ファストフード店やレジャー施設など、アフレア周辺や市内に気軽に行けて楽しめたり、くつろげたりする場所をつくってはどうか。
- A. ファストフード店などは市で整備できないため、企業に対しアプローチが必要。出店できる事業者を求めて情報発信や誘致に努めたい。

■ あわらの観光戦略について (金津中3年・高橋議員)

- Q. カヌーやガラス細工体験などの体験型ツアーを組み立てたり、駅から遠い観光地までのタクシーやバス乗車で交通費一部補助をしてはどうか。
- A. 民間事業者と協力し、様々な体験コンテンツの販売をしている。またワンコインで乗車できる「あわらぐるっとタクシー」を運行中。様々なツールを用いて、市の魅力を広くPRしたい。



01 議場見学

Tour of the assembly hall

子ども議会終了後には、議場見学が行われました。子ども議員ほか、傍聴のクラスメイトや先生も参加。議長席に座ったり、YouTube配信のシステムを見たり、普段できない貴重な体験となりました。



子ども議会の様子

子ども議会 Pick Up!

あわら市子ども議会の独自の取り組みや話題になった内容をご紹介します!

02 議員“缶”バッジ

Congressman "Can" Badge

議員の証である議員バッジならぬ「議員“缶”バッジ」を作製し、子ども議員と傍聴のクラスメイトに配布しました。子ども議会への参加を形に残すことができました。



議員“缶”バッジ

03 YouTube配信

YouTube distribution

子ども議会の様子は、当日公式YouTubeでライブ配信されました。再生回数はなんと9万回を突破! 右のQRコードよりご覧ください。



YouTube 配信

04 子ども議会ポスター

Children's Parliament Poster

子ども議会開催を知らせるポスターを作製しました。モデルは芦原・金津両中学校の子ども議員! 撮影はそれぞれの中学校で行われました。



芦原中学校



金津中学校

まとめ

あわら市議会として初開催となった今回の子ども議会。子どもたちが関心を持っているテーマについて議論を深めるきっかけとなり、子どもたちや先生から前向きな感想をいただきました。子ども議会に限らず、市民が自由に意見を発表できる場を提供し、市政に対する関心をさらに高め、市民全体が政治に参加する未来を目指していきます。



市民の声が広報を変える！ 議会アンケート集計結果

あわら市議会では、「議会だより」を年4回発行して、議会の活動をお届けしています。でも、その内容はずっと変わらず、どれだけ読まれているかもよくわかりませんでした。そこで、「もっと読みやすく、みんなに伝わる内容に変えられないか？」と思い、市民のみなさんにアンケートを実施しました！

1

まずは調査から

8月15日から9月1日の期間に、紙とウェブでアンケートを行いました。

紙のアンケートは、「広報あわら」に折り込んだり、議員が直接配布したりして、多くの人に届けました。

市内にボックスも設置してアンケートの回収もバッチリ行いました。



◀ボックスでアンケートを回収

→2

2

丁寧に集計

多くの市民の皆さまにご協力いただき、591件の回答が集まりました。

ご協力ありがとうございました！

集まった回答は、広報担当の議員たちで丁寧に集計しました。

どの回答も、みなさんの思いや意見が詰まっていて、一つひとつ重みを感じながら集計しました。



▲広報担当の議員たちでアンケートを集計

→3

3

しっかり分析

今回の結果をもとに、議会全体の広報活動をもっと分かりやすく、そして市民の皆さんに寄り添った形に変えていく予定です。

みなさんの声をもとに、広報活動をよりパワーアップさせていきます。

→4

4

まとめ

性別と年代別に分けて、それぞれの層がどんな意見や傾向があるのか詳しく分析しました。

結果は、ホームページに報告書として公開しています。みなさんからのご意見もすべて掲載していますよ。

興味のある方は、自分と他の世代で意見がどう違うのか、じっくりチェックしてみてください。

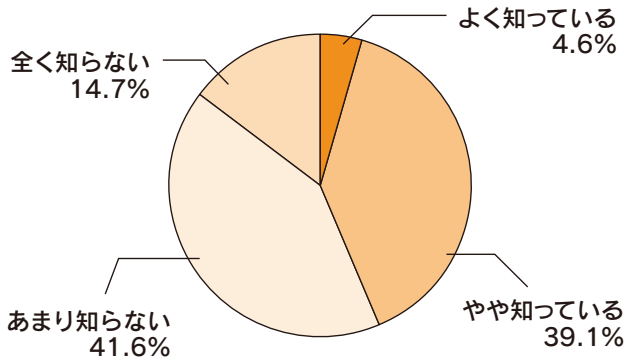


◀ホームページで報告書をチェック

次のページで結果をグラフで見よう

Q1

あわら市議会がどのような活動を行っているか知っていますか。



アンケート集計結果を グラフでチェック

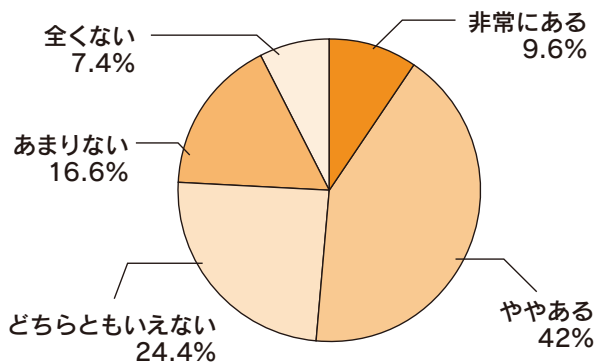
ここでは、アンケート結果をグラフでわかりやすくまとめています。気になる項目をチェック！

さらに、性別や年代別などの詳しい結果はホームページをご覧ください。



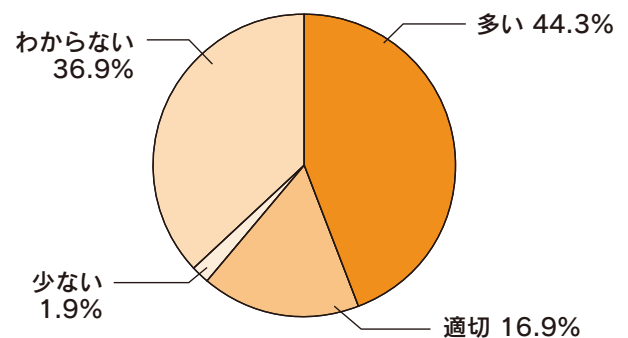
Q2

あわら市議会に興味関心がありますか。



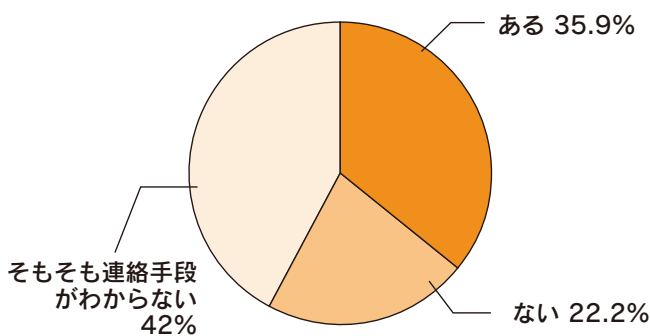
Q3

現在の議員定数（16名）について
どう思いますか。



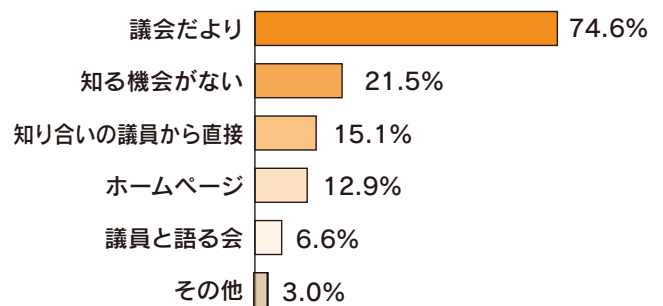
Q4

議会や議員に意見や要望を伝える
手段はありますか。



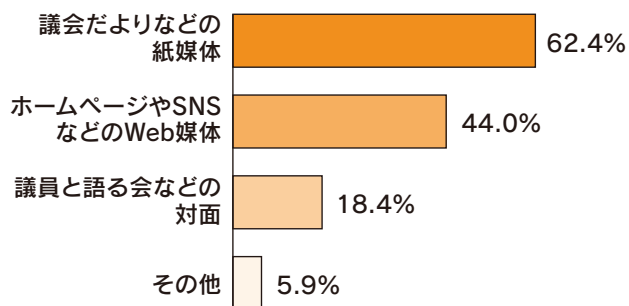
Q5

あわら市議会のことをどのような手段で
お知りになっていますか。（複数回答）



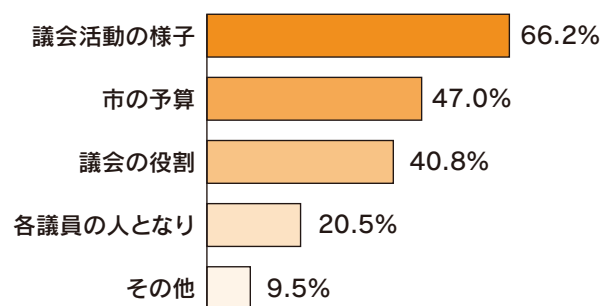
Q6

あわら市議会のことをどのような手段で
お知りになりたいですか。（複数回答）



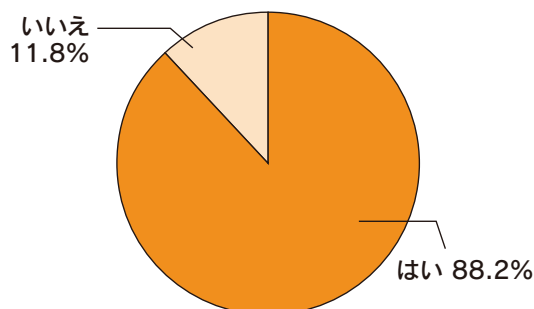
Q7

あわら市議会について、どのような内容
の発信を期待しますか。（複数回答）



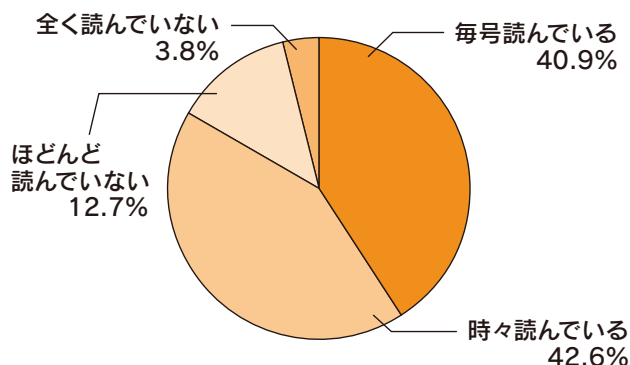
Q8

「あわら市議会だより」を知っていますか。



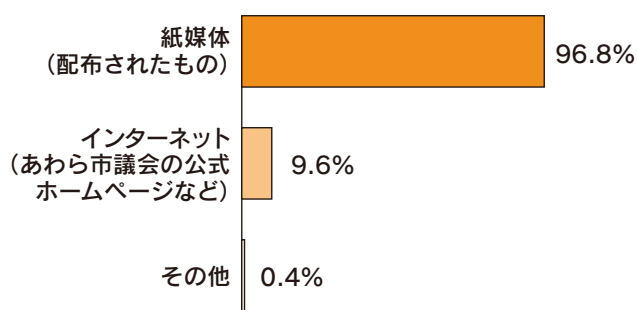
Q9

「あわら市議会だより」を読んでいますか。



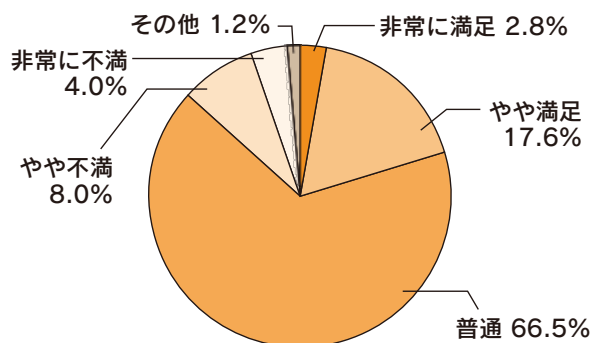
Q10

「あわら市議会だより」をどのような方法で読んでいますか。（複数回答）



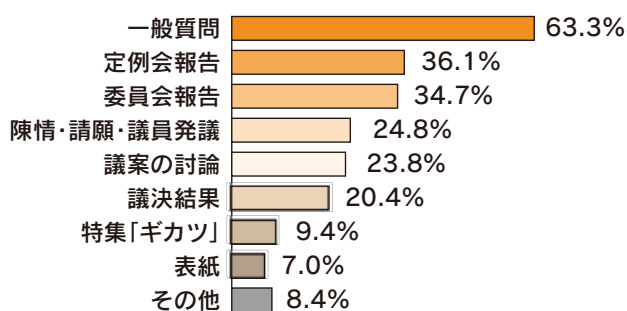
Q11

「あわら市議会だより」の内容に満足していますか。



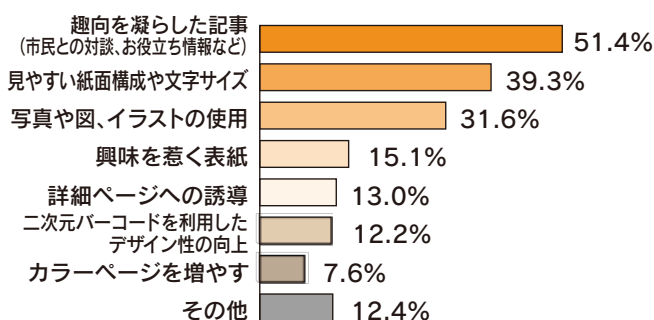
Q12

「あわら市議会だより」で特に関心のある記事を教えてください。（複数回答）



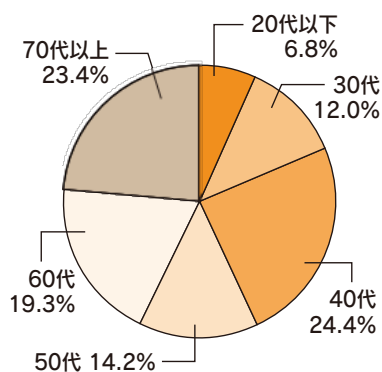
Q13

「あわら市議会だより」をより良くするために何が必要だと思いますか。（複数回答）



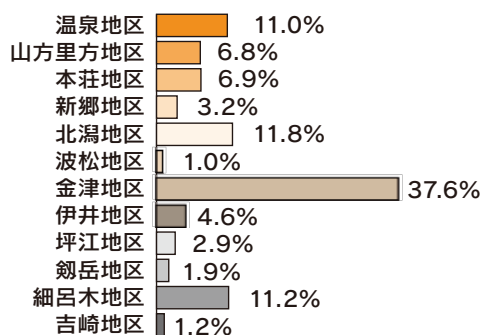
Q14

あなたの年代を教えてください。



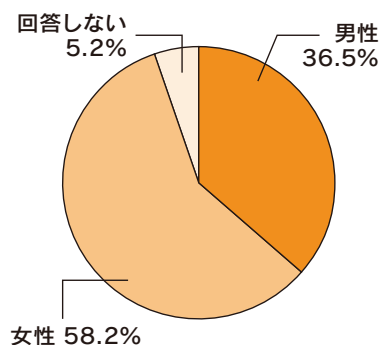
Q15

あなたのお住まいの地区を教えてください。



Q16

あなたの性別を教えてください。



議会活性化特別

ギカツ

G I K A T S U

TOPIC.1

あわらし議会議員の定数見直しについて答申書を提出しました

- 金津地区・温泉地区区長会から議員定数の削減を求める陳情書が提出される。
- 議会運営委員会が、議員定数に関する議論を議会活性化特別委員会へ諮問する。
- 議会活性化特別委員会で18回にわたり審議やグループワークを実施。
- 審議結果を答申書にまとめ、議会活性化特別委員会から議会運営委員会に答申書を提出。
- 全議員での議員定数の議論へ。



▲答申書の内容



▲議論の進捗

TOPIC.2

議員と“語りたい”団体募集！

これまであわらし市議会では、“市民”と“議員”が意見を交換する場として「議員と語ろう会」を開催してきました。この秋は、市内の様々な団体やグループを対象とした会を企画しています。共に“あわらし市の未来”について考えてみませんか？みなさまのご参加をお待ちしています！

対象 市内に拠点を置く団体、または市内に在住・在勤・在学する方々による3名以上のグループも参加可能です。

概要 参加者と議員が少人数のグループで気軽に意見交換できる場です。子育てや観光といったテーマ別の意見交換も可能です。

「議会の役割とは？」「市ではどのような取り組みが進んでいるのか？」など、みなさまの気になる疑問にもお答えします。



◀ お申込みや詳細については、左のQRコードをチェックしてみてください。

子ども議会・広報アンケート載ってます。
めくってね→

議会のイメージを、塗り替えよう。

